

# 健康



がん細胞の形や性質によりいくつかの種類に分類されますが、大きくはホジキンリンパ腫と非ホジキンリンパ腫の二つに分類されます。日本人の

増加します。がん細胞の形や性質によりいくつかの種類に分類されますが、大きくはホジキンリンパ腫と非ホジキンリンパ腫の二つに分類されます。日本人の増加します。

**回答** 悪性リンパ腫は、ウイルスや細菌から体を守る働きをしている血液中のリンパ球が、がん化する病気です。血液がんの中で最も患者数が多く、罹患率は増加傾向(2015年の統計調査では年間10万人に対し約20人)で、特に60歳を超えると年齢が上がることも増加します。

柴田 泰伸  
県立中央病院  
血液内科部長



**質問** 82歳の男性です。首のしこりの検査で悪性リンパ腫(びまん性大細胞型B細胞リンパ腫)と診断され、抗がん剤治療を勧められました。これまで、大病もなく元気でしたが、高齢のため副作用が心配です。治療を受けた方がいいのですか。

## 悪性リンパ腫の抗がん剤治療

場合、非ホジキンリンパ腫が90%以上を占め、中でも、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫は非ホジキンリンパ腫の30~40%を占め、最も発生頻度が高いです。

症状は、首、脇の下、足の付け根のリンパ節が腫れることが多く、痛みがないのが特徴です。リンパ節を切除し、病理検査で診断が確定します。その後、全身のコンピューター断層撮影装置(CT)検査や陽電子放射断層撮影(PET)検査で病気の広がりを調べ、全身状態(体力、既往症、

治療中の病気など)を考慮した上で治療方針を決めます。

びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の標準治療は、B細胞性のリンパ腫の目印になる抗原CD20を標的にした抗体医薬で

あるリツキシマブと3種類の抗がん剤(シクロホスファミド、ドキソルビシン、ビンクリスチン)とステロイド薬(プレドニゾン)を合わせたR-CHOP(アールチヨップ)療法です。

副作用にアレルギー反応や吐き気、食欲不振、骨髄抑制による血球成分の減少、便秘、手足のしびれ、脱毛、心機能障害などがあります。治療を安全に行うためには、吐き気止めや好中球減少期の感染症予防のためのG-CSF製剤の使用など副作用を抑えるための支持療法が非常に重要です。

### がん何でもクイズ

胸部X線検査で見えないものはどれでしょう。  
①肺がん ②肺結核 ③胃潰瘍

行こうよ!がん検診

## 吐き気や脱毛の副作用



イラスト・伊藤司郎

びまん性大細胞型B細胞リンパ腫は、抗がん剤の感受性が高く、治療が奏功すれば治癒が期待できる疾患です。80歳を超えていても、全身状態に見合った抗がん剤の投与や適切な支持療法を行うことにより治療を受けるのは可能です。主治医と相談し、ベストな治療法を選択してください。

(第4土曜掲載)

## 症状抑える支持療法を

がんに関する質問は  
徳島がん対策センター  
〈電088(634)6442〉  
(平日午前8時半から午後5時まで)